

Vol. 15

2016年9月号

こころと文化

No. 2

PSYCHE & CULTURE

目次

巻頭言	グローバル・メンタル・ヘルスの時代?	北中淳子	128
特集	理論生成における臨床家のゴール, 研究者のゴールとは		
	特集にあたって	鷗川 晃	131
	第1部 理論生成における臨床家のゴール, 研究者のゴールとは		
	座談会「理論生成における臨床家のゴール, 研究者のゴールとは」		133
	第2部 臨床観察と理論生成		
	精神医学における理念型の役割	古茶大樹	144
	摂食障害の発症, 経過と治療における「本人の関与」	西園マー八文	151
	「臨床実践と理論生成の今」		
	——「ひきこもり」の臨床実践と, 理論生成を通して	古橋忠晃	157
	第3部 現象理解と理論生成		
	精神科薬物療法と自己		
	——「脳と自己の分離」の検討	榎原克哉	163
	越境する文化と身体記憶		
	——ベトナム系住民女性の出産のナラティブから		
		鷗川 晃, 野田文隆	169
書評	東畑開人著		
	『野の医者は笑う——心の治療とは何か?』		
		山本和儀	178
	山之内悦子著		
	『あきらめない映画——山形国際ドキュメンタリー映画祭の日々』		
		野田文隆	179
	増田ユリヤ著		
	『揺れる移民大国フランス——難民政策と欧州の未来』		
		鷗川 晃	180
学会ニュース			181
	第20回多文化間精神保健専門アドバイザー資格認定研修会のお知らせ		
	第23回多文化間精神医学会学術総会のご案内		
	第24回多文化間精神医学会学術総会開催のご案内		
	■投稿規定・執筆要領		184
	■編集後記		186